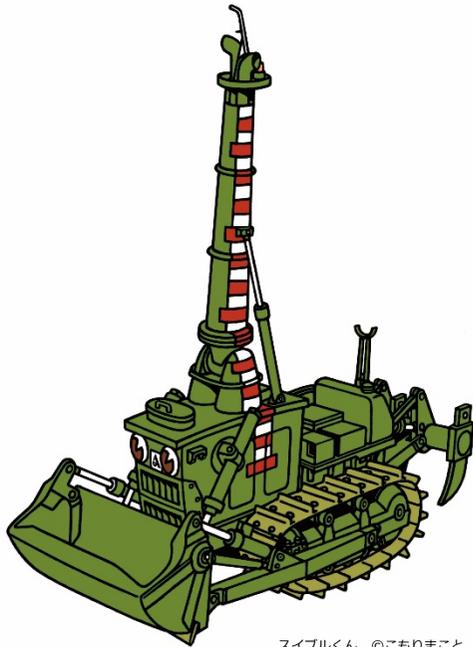


2021年3月期決算説明会資料



スイブルくん ©こもりまこと

青木あすなる建設株式会社
2021年5月28日

目次

□ 2021年3月期決算（連結）説明 ③～⑭

□ 2021年3月期決算（個別）説明 ⑮～⑳

□ 2022年3月期年度経営計画 説明 ㉒～㉓

2021年3月期決算（連結） 説明

企業集団の状況

- 当社グループは、当社およびグループ会社7社により構成され、建設事業および不動産事業を主な事業内容とし、これらに関連する事業をおこなっている。

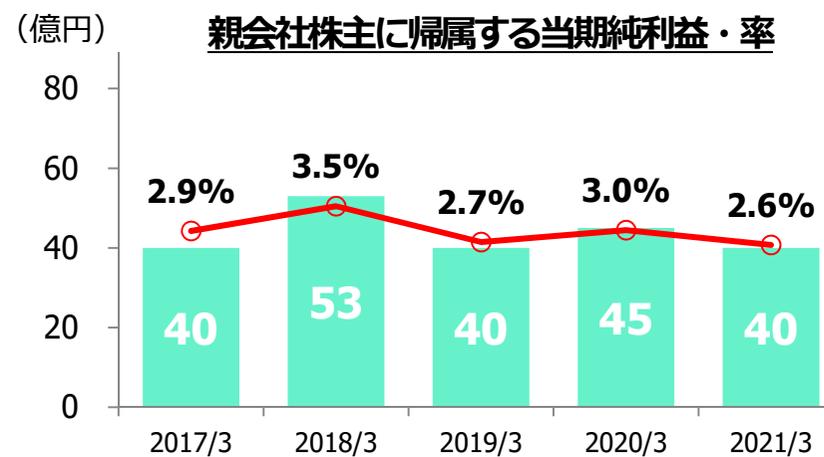
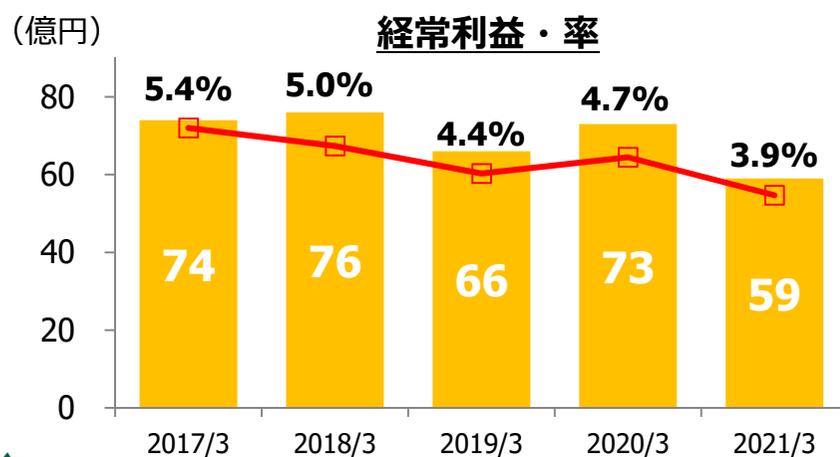
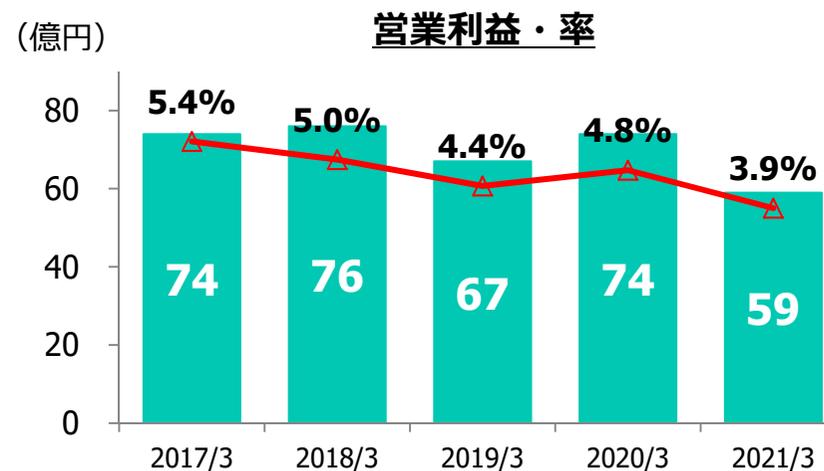
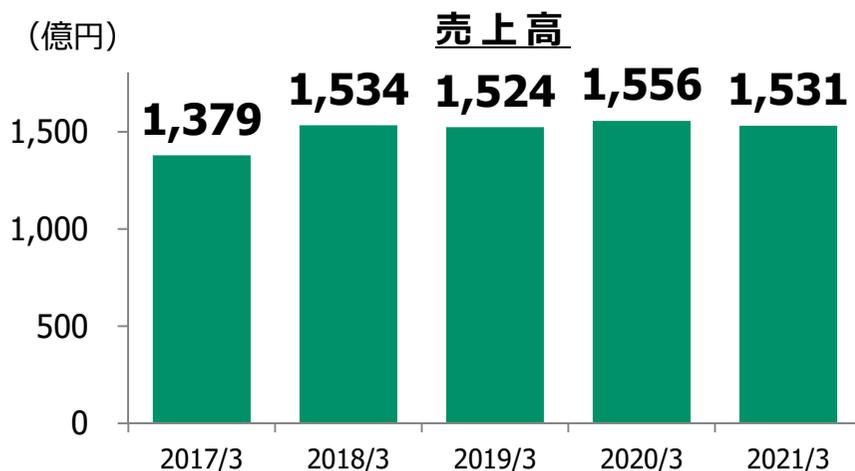
	建 築	土 木	不 動 産	主要営業エリア
当 社	青木あすなる建設(株)			国内(全国)
グループ 会 社	みらい建設工業(株)			国内(全国)
		東興ジオテック(株)		国内(全国)
		青木マリーン(株)		国内(全国)
		あすなる道路(株)		北海道
		(株) エムズ		首都圏
		(株) 島田組		国内(全国)
		(株) アクセス		関西圏

※新潟みらい建設(株)は2021年3月31日付で発行済株式の全てを本間道路(株)に譲渡。

業績サマリー（連結）

（億円未満切捨）

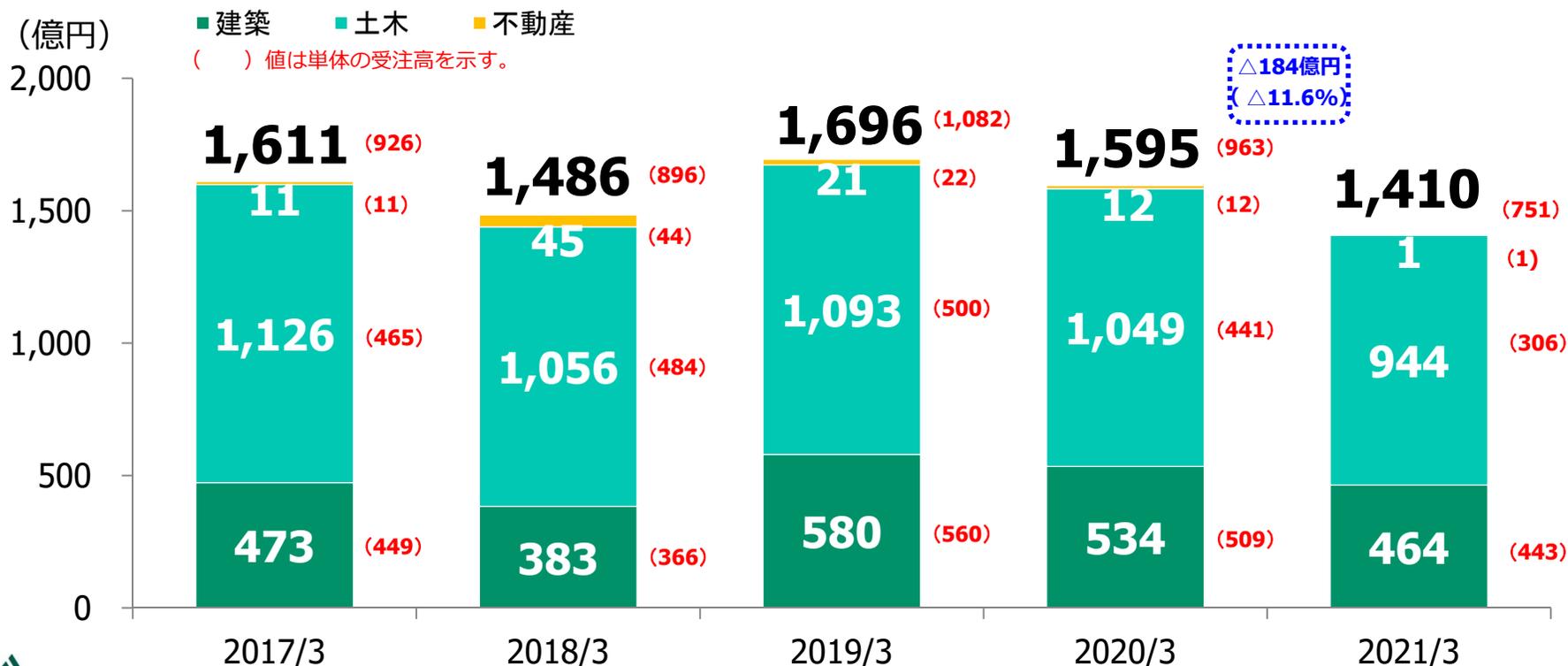
- 前期に過去最高を更新した売上高は前期比**減収**、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は前期比**減益**。



受注高（連結）

（億円未満切捨）

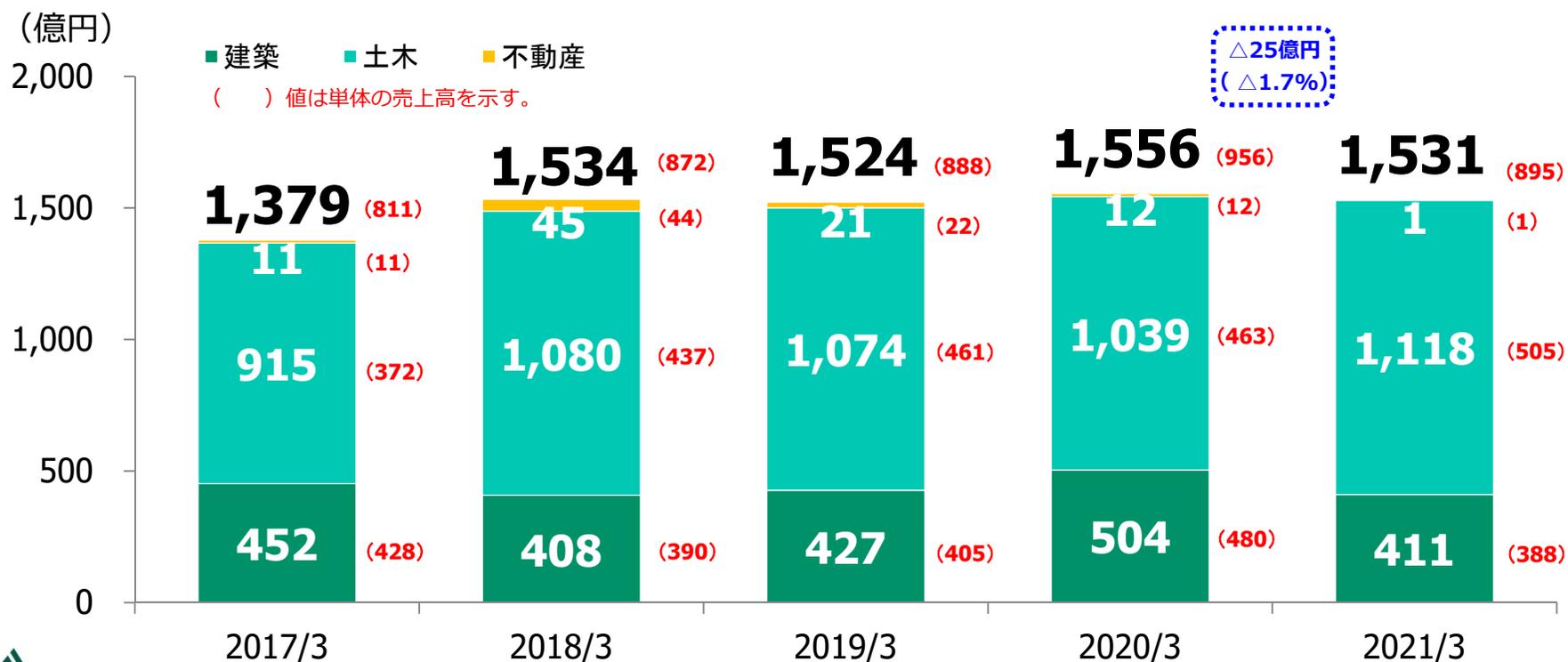
- 建築は官庁が前期に大型ごみ処理施設を受注した反動等で減少、民間が新型コロナウイルス感染症の拡大による投資判断の保留や延長等により減少し、全体では前期比**69億円（△12.9%）の減少**。
- 土木は民間が再生可能エネルギー分野で大規模造成工事を伴うメガソーラーの取り組みが徐々に減り、水力や風力発電の取り組みへの移行期となったこと等により減少、官庁が競争環境の激化により減少し、全体ではグループ会社の受注増があったものの、前期比**104億円（△10.0%）の減少**。
- 全体では**184億円（△11.6%）の減少**。



売上高（連結）

（億円未満切捨）

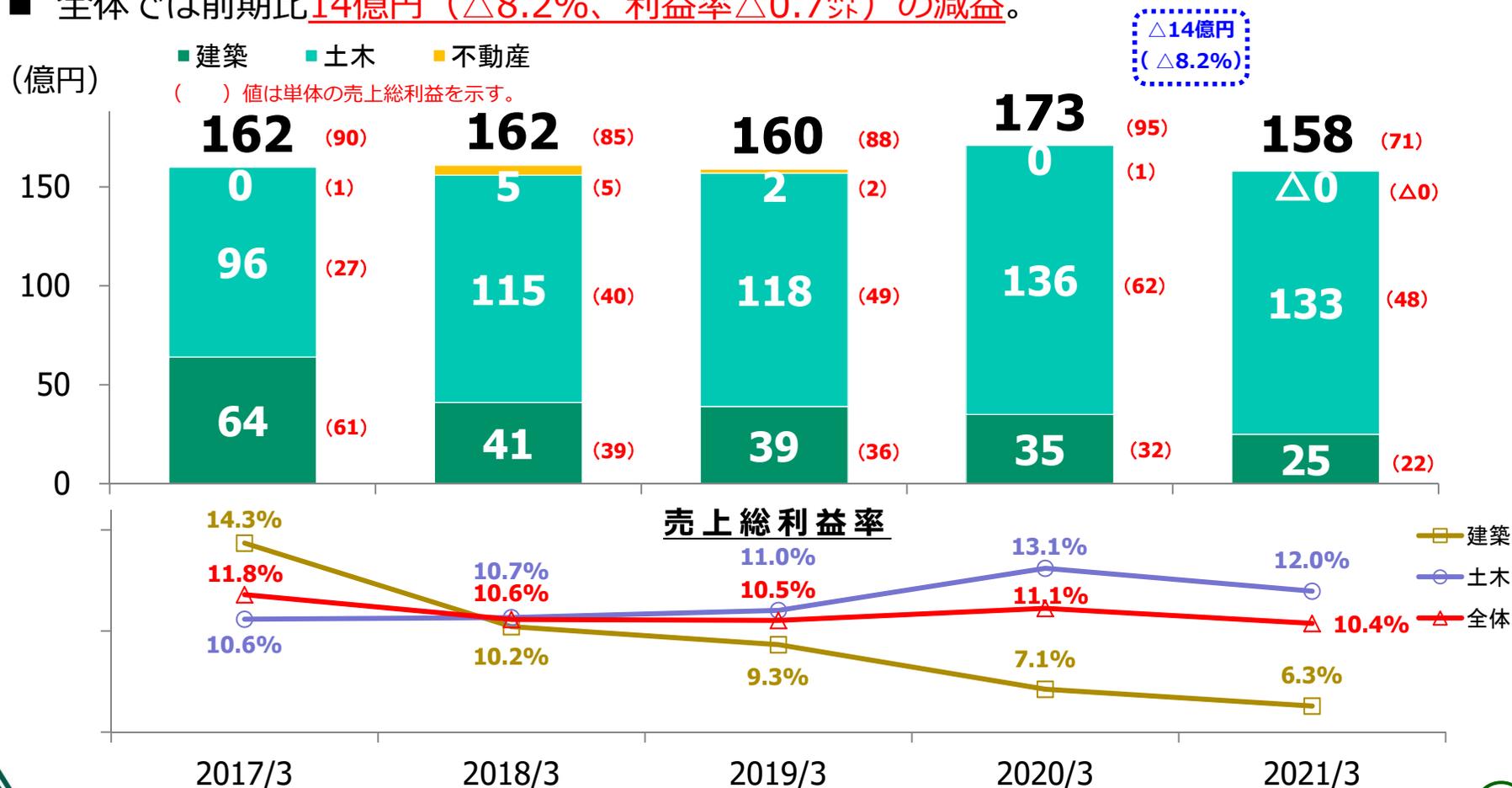
- 建築は手持工事の施工量が端境期であったこと等により、前期比93億円（△18.5%）の減収。
- 土木は当社、グループ会社ともに手持工事が順調に進捗したこと等により、前期比78億円（+7.6%）の増収。
- 全体では前期比25億円（△1.7%）の減収。



売上総利益（連結）

（億円未満切捨）

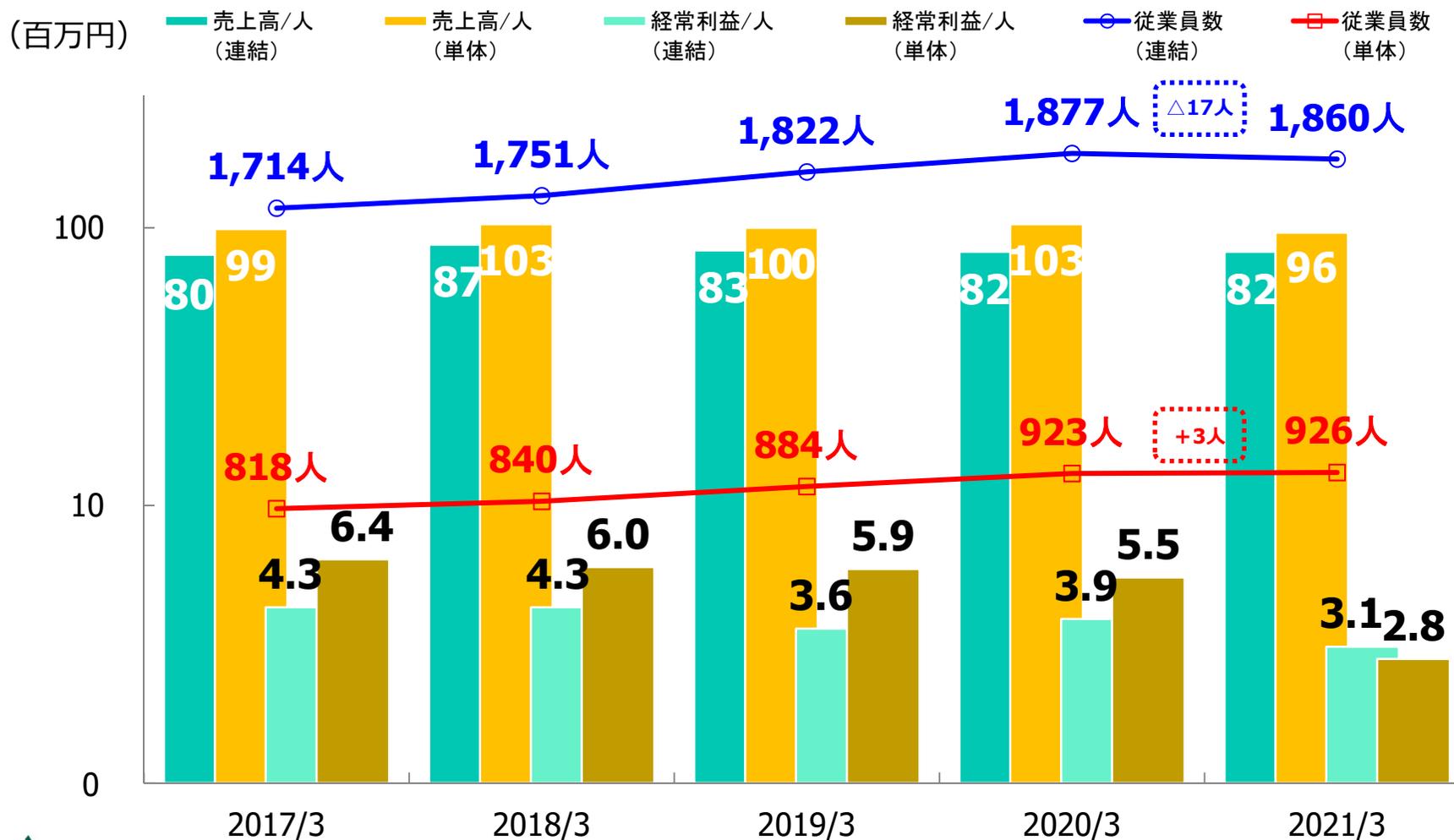
- 建築は資材価格の上昇や労務不足等の影響を受けた低採算工事が複数件発生したこと等により、前期比**10億円（△28.0%、利益率△0.8㊦）**の減益。
- 土木は東興ジオテックが過去最高益を更新したものの、当社が好採算工事の減少等により減益となり、前期比**2億円（△1.7%、利益率△1.1㊦）**の減益。
- 全体では前期比**14億円（△8.2%、利益率△0.7㊦）**の減益。



従業員数および生産性

(売上高/人：百万円未満切捨)
(経常利益/人：十万円未満切捨)

- 期末従業員数は新潟みらい建設の株式譲渡等により**減少**、一人当たりの経常利益は連結・単体とも一般管理費が前期並みも減収および売上総利益率の低下による売上総利益の減少により前期比**減少**。



貸借対照表 (連結)

(億円未満切捨)

(単位：億円)

	2020/3	2021/3	増減額		2020/3	2021/3	増減額
流動資産	(1,033)	(976)	(△ 57)	流動負債	(379)	(302)	(△76)
現金預金	262	275	12	工事未払金	233	190	△43
受取手形・完成工事未収入金等	663	655	△8	未成工事受入金	70	50	△19
販売用不動産	9	8	△0	賞与引当金	16	16	△0
未成工事支出金	0	1	0	その他	58	45	△12
不動産事業支出金	0	0	0	固定負債	(86)	(83)	(△2)
未収入金	71	22	△48	退職給付に係る負債	79	77	△2
その他	25	13	△12	その他	6	6	△0
貸倒引当金	△0	△0	△0	負債合計	465	386	△79
固定資産	(135)	(139)	(3)	株主資本	(702)	(724)	(22)
有形固定資産	(63)	(65)	(2)	資本金	50	50	—
無形固定資産	(3)	(2)	(△0)	資本剰余金	237	237	—
投資その他の資産	(68)	(70)	(2)	利益剰余金	448	471	22
投資有価証券	37	40	3	自己株式	△34	△34	—
繰延税金資産	24	23	△1	その他の包括利益累計額	(0)	(4)	(3)
その他	8	9	0	非支配株主持分	(0)	(0)	(0)
貸倒引当金	△2	△2	0	純資産合計	703	729	26
資産合計	1,168	1,115	△53	(自己資本比率)	(60.1%)	(65.3%)	(5.2%)
				負債・純資産合計	1,168	1,115	△53

グループ会社別の業績（1）

（億円未満切捨）



青木あすなる建設

主要事業：総合建設業



舞鶴若狭自動車道 綾部工事



勝浦市興津太陽光発電所
建設工事（土木工事）



加藤産業(株)西近畿支社神姫支店新築工事



29-新千里東町団地先工区建設工事

（単位：億円）

	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	
	実績	実績	実績	実績	実績	前期比増減率
受注高	926	896	1,082	963	751	△22.0%
売上高	811	872	888	956	895	△6.3%
営業利益	41	40	36	39	15	△62.0%
経常利益	52	50	52	51	25	△49.5%
当期純利益	34	34	38	34	24	△30.8%
期末従業員数	818人	840人	884人	923人	926人	



青木あすなる建設

グループ会社別の業績（2）

（億円未満切捨）



みらい建設工業

主要事業：海上工事、港湾工事、陸上土木工事、建築工事



弥富ふ頭第1貯木場北側護岸整備工事(その1)



細島港防波堤築造工事



新潟港航路泊地付帯施設中仕切堤工事

（単位：億円）

	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	
	実績	実績	実績	実績	実績	前期比増減率
受注高	371	272	291	297	303	2.1%
売上高	263	336	313	284	278	△2.2%
営業利益	11	12	6	8	8	1.2%
経常利益	11	12	6	8	8	4.8%
当期純利益	8	15	4	5	5	△12.5%
期末従業員数	306人	310人	324人	331人	318人	



青木あすなる建設

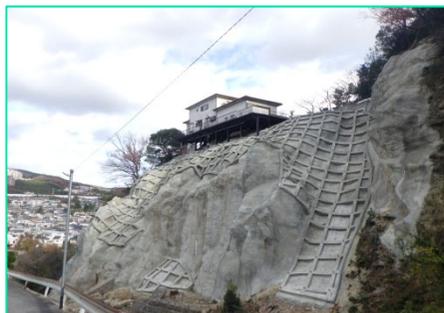
※受注高および売上高はグループ内取引高を除き計上。

グループ会社別の業績（3）

（億円未満切捨）

東興ジオテック

主要事業：法面保護工事、地盤改良工事、爆砕工事、保温・耐火工事



長寿カ丘急傾斜地崩壊防止工事
（法面保護工事）



東京国際空港C滑走路他地盤改良工事
（地盤改良工事）



小石原川ダム工事
（爆砕工事）



JAPEX相馬煙突据付・
煙突耐火工事
（保温・耐火工事）

（単位：億円）

	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	
	実績	実績	実績	実績	実績	前期比増減率
受注高	218	226	223	236	246	4.3%
売上高	208	222	221	220	244	10.9%
営業利益	13	15	17	16	26	59.8%
経常利益	12	15	17	16	26	59.5%
当期純利益	8	9	14	10	16	58.7%
期末従業員数	392人	396人	390人	395人	397人	

その他のグループ会社について

(億円未満切捨)

会社名	本社所在地	主要事業	2021/3売上高	従業員数(2021/3末)	
 島田組 アクセス	大阪府 八尾市	埋蔵文化財発掘調査、土木工事	45 億円	126 人	
 青木マリーン	神戸市 東灘区	埋立・浚渫工事、海上輸送	33 億円	40 人	
 エムズ	東京都 中央区	建築リノベーション工事	23 億円	28 人	
 あすなる道路	札幌市 中央区	道路・舗装・土木工事、合材販売	16 億円	25 人	

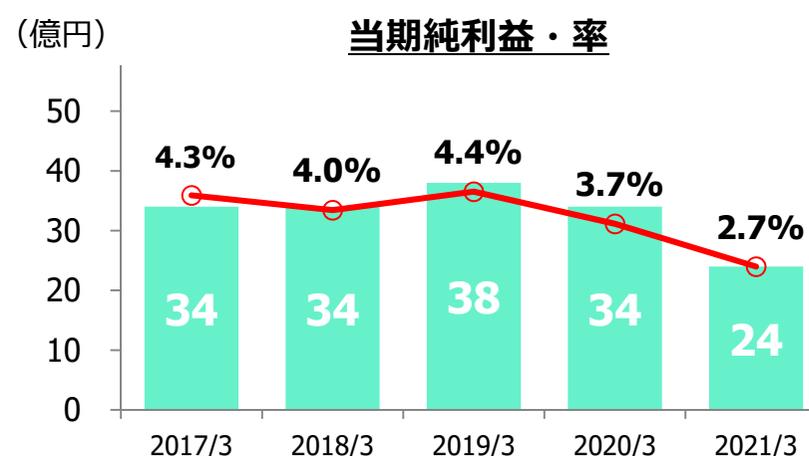
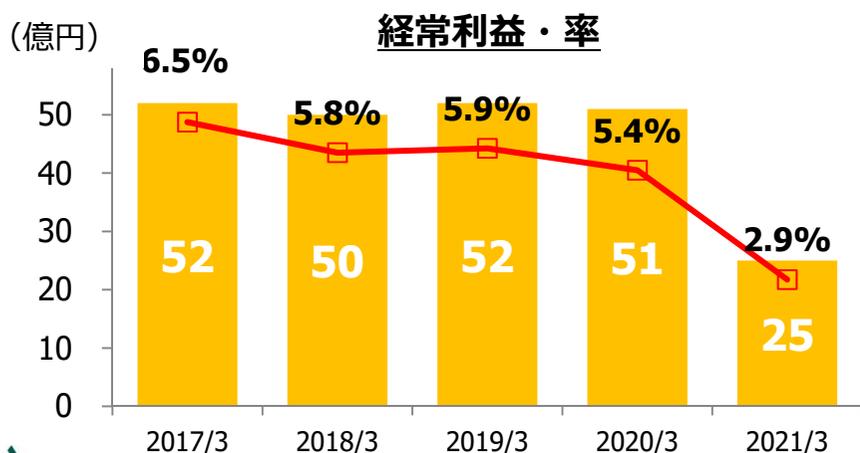
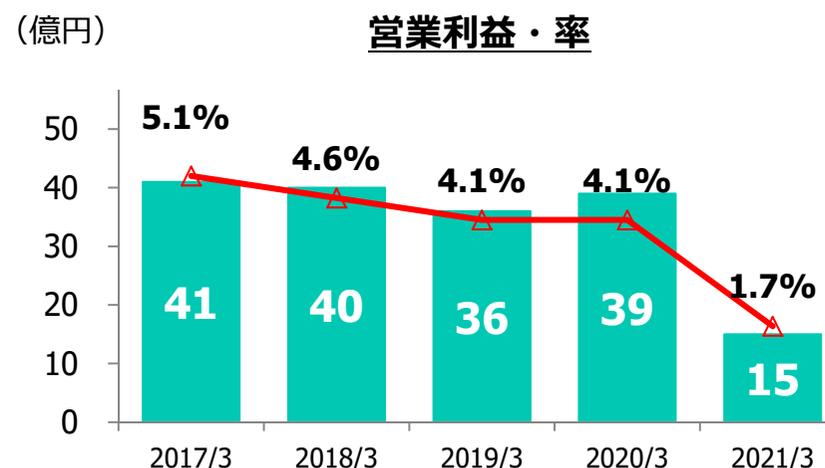
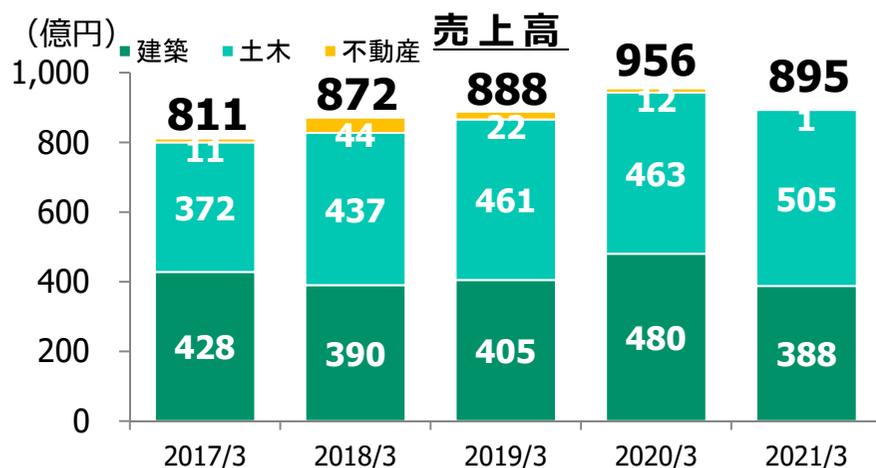
2021年3月期の売上高が大きい順に記載。

2021年3月期決算（個別） 説明

業績サマリー（個別）

（億円未満切捨）

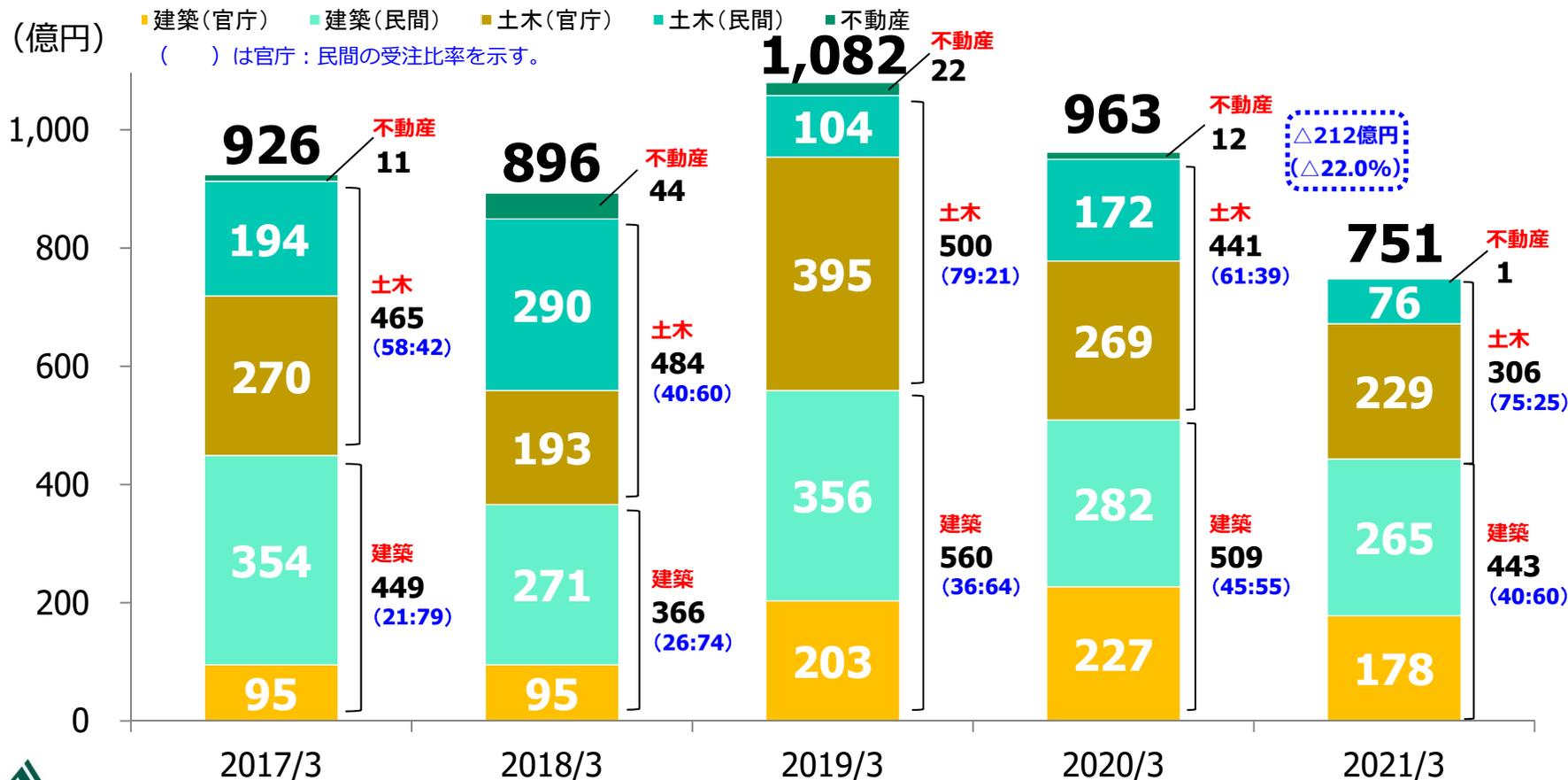
- 売上高は建築セグメントの施工量が端境期であったこと等により前期比**減収**、営業利益・経常利益・当期純利益は建築の低採算工事発生による売上総利益の減少により前期比**減益**。



受注高（個別）

（億円未満切捨）

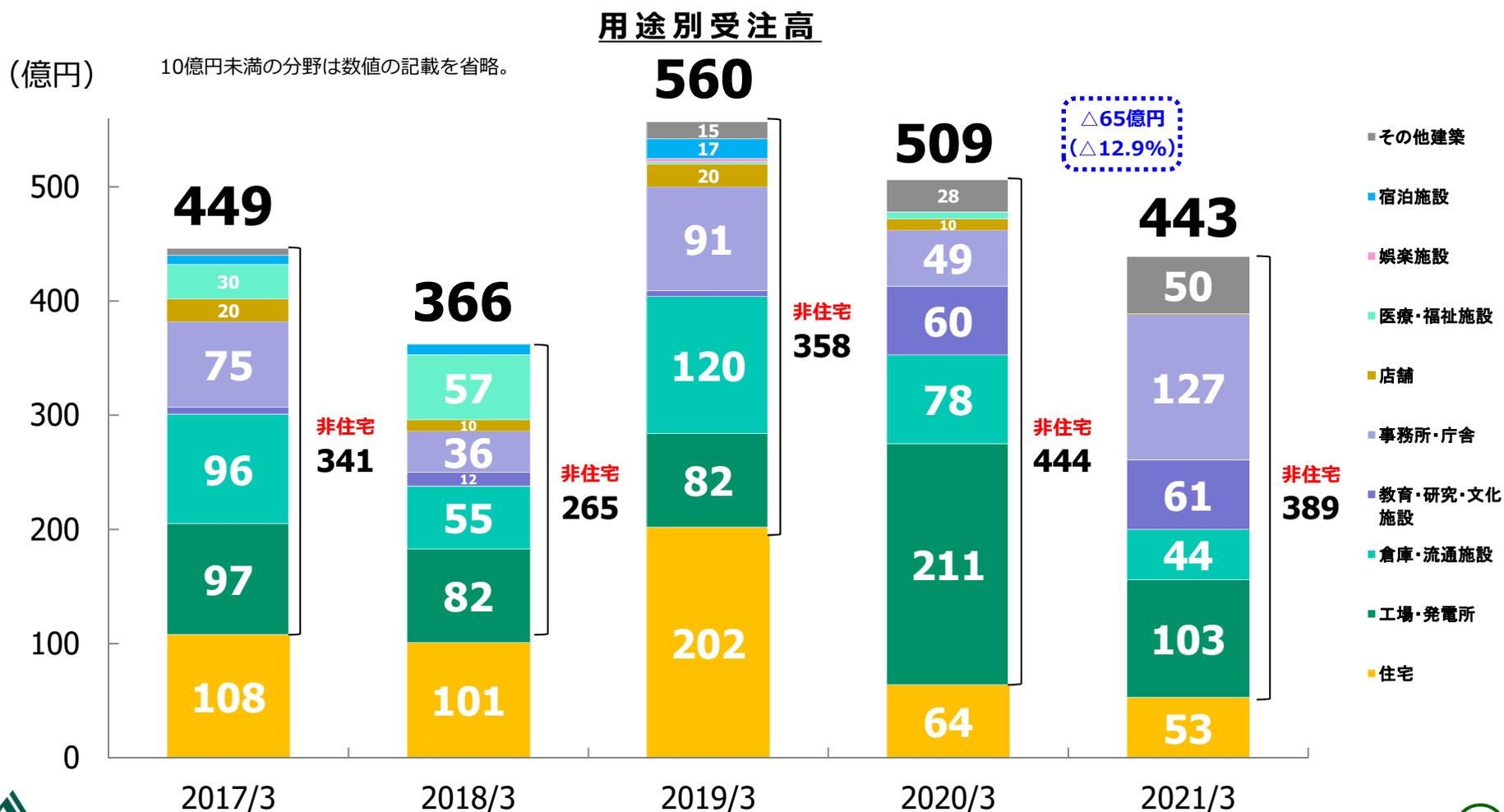
- 建築は官庁が前期に大型ごみ処理施設を受注した反動等で減少、民間が新型コロナウイルス感染症の拡大による投資判断の保留や延長等により減少し、全体では前期比**65億円（△12.9%）の減少**。土木は民間が再生可能エネルギー分野で大規模造成工事を伴うメガソーラーの取り組みが徐々に減り、水力や風力発電の取り組みへの移行期となったこと等により減少、官庁が競争環境の激化により減少し、全体では前期比**135億円（△30.7%）の減少**。全体では**212億円（△22.0%）の減少**。



建築受注高（個別）

（億円未満切捨）

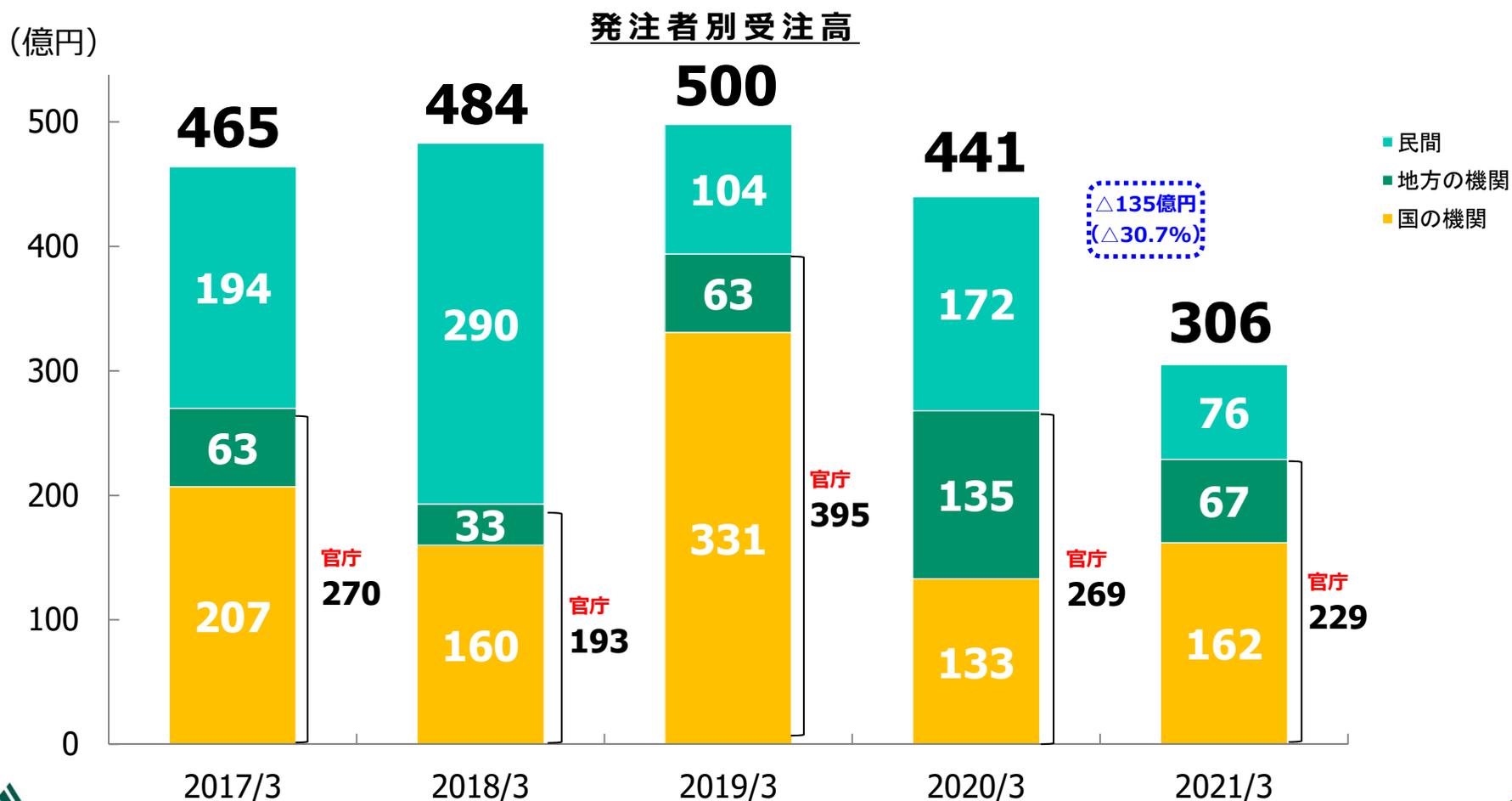
- 非住宅分野は事務所・庁舎が増加したものの前期好調であった工場・発電所の減少をカバーできず、全体で減少。住宅分野は首都圏分譲マンションの市場動向により減少、建築全体では前期比65億円（△12.9%）の減少。



土木受注高（個別）

（億円未満切捨）

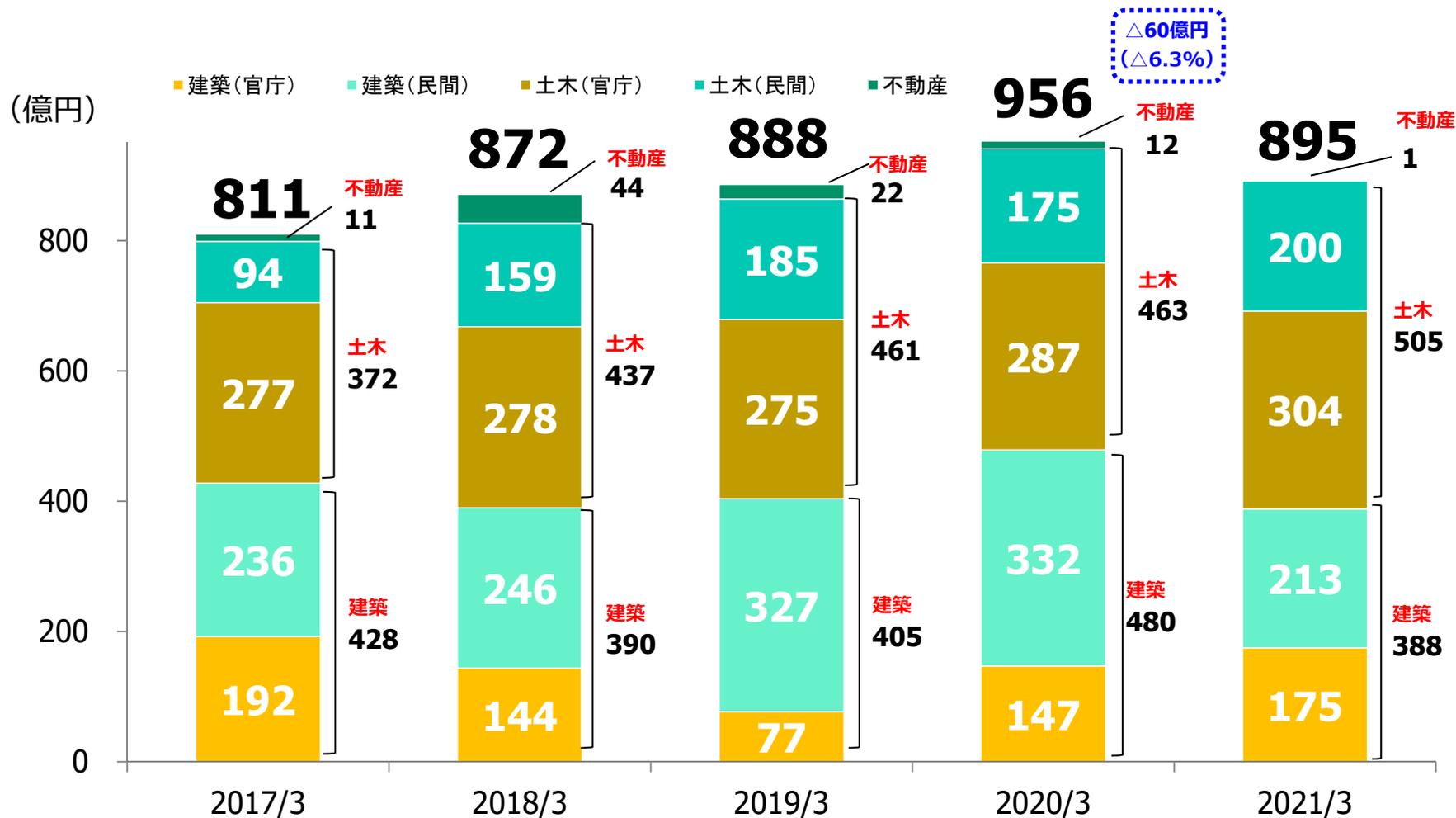
- 民間が再生可能エネルギー分野で大規模造成工事を伴うメガソーラーの取り組みが徐々に減り、水力や風力発電の取り組みへの移行期となったこと等により減少、官庁が競争環境の激化により減少し、全体では前期比135億円（△30.7%）の減少。



売上高（個別）

（億円未満切捨）

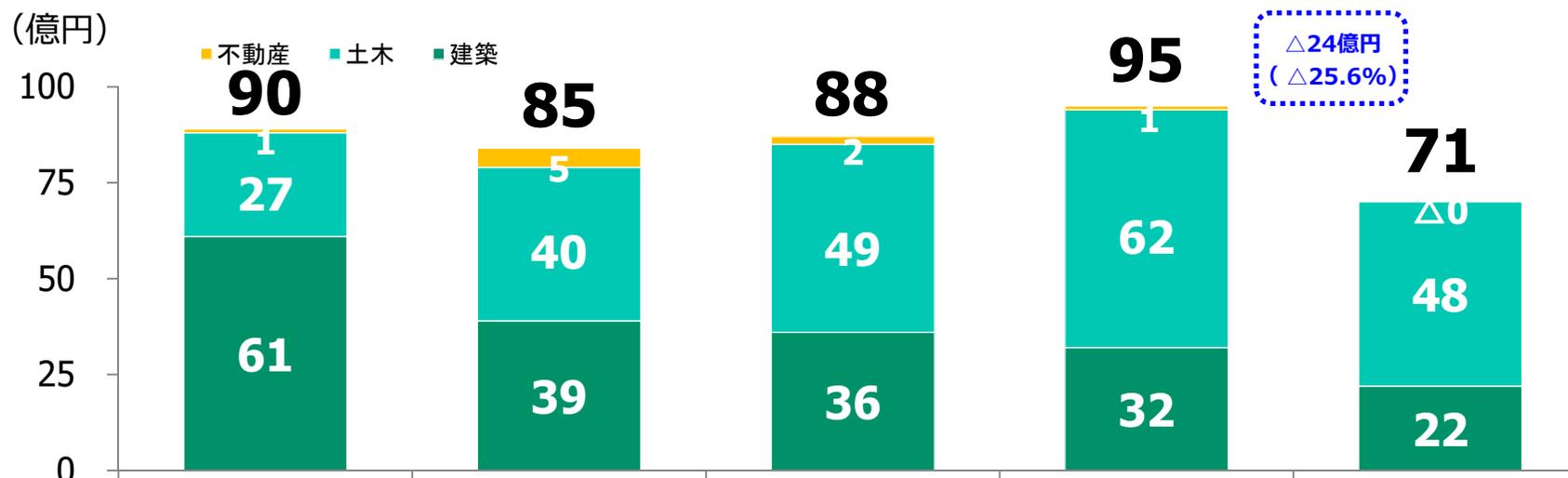
- 建築は手持工事の施工量が端境期であったこと等により減収。土木は手持工事が順調に進捗したこと等により増収。全体では前期比60億円（△6.3%）の減収。



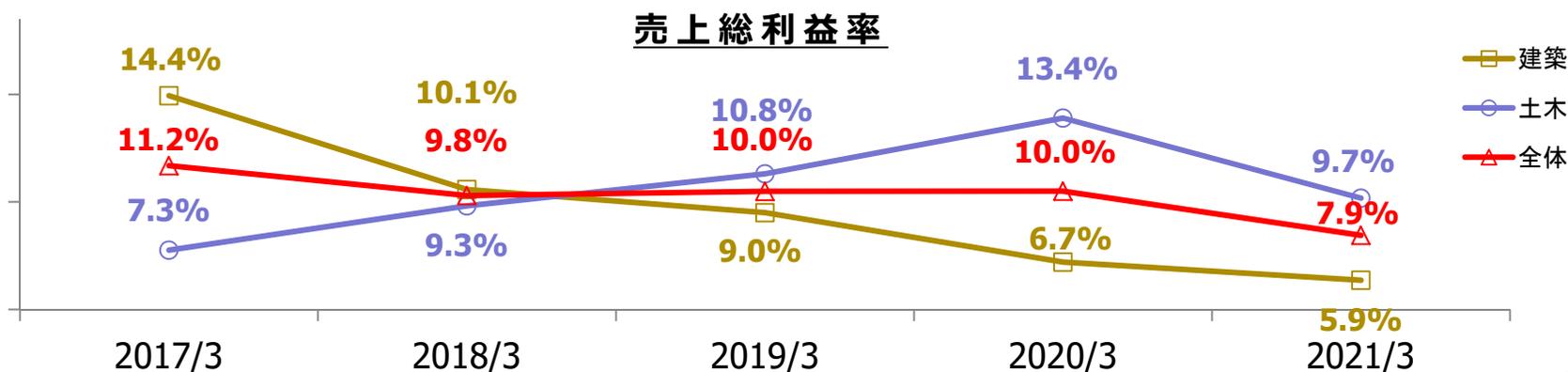
売上総利益（個別）

（億円未満切捨）

- 建築は資材価格の上昇や労務不足等の影響を受けた低採算工事が複数件発生したこと等により、前期比**減益**。土木は好採算工事の減少等により減益となり、前期比**減益**。全体では前期比**24億円（△25.6%）の減益**。



△24億円
（△25.6%）



2022年3月期年度経営計画 説明

環境認識および課題 (中期経営計画)

環境認識

プラス要因

- ・ インフラ建設投資は当面継続
- ・ 社会インフラの更新の増大
- ・ 国土強靱化対策の推進
- ・ リニューアル市場の拡大
- ・ AI、ロボット等の技術革新

- ・ 新設工事件数の減少
- ・ 担い手労働者の減少
- ・ 総世帯数の減少
- ・ 人口減少による経済の縮小
- ・ 五輪以降の経済不透明感

マイナス要因

課題

プラス要因

- ・ 防災、減災対策工事の独自技術を保有
- ・ 再生可能エネルギー関連工事の豊富な施工実績
- ・ 産学連携による共同研究
- ・ 優位性のある官庁工事の施工実績

- ・ i-Constructionの急激な進展が必須
- ・ 現場技術者の逼迫が継続
- ・ 生産性の向上が必要不可欠
- ・ 働き方改革への取り組みが不可欠

マイナス要因

基本方針・基本戦略 (中期経営計画)

基本方針

～柔軟な発想と強靱な足腰～
環境に即応し、持続的伸展を目指す

基本戦略

- リニューアル関連工事への取組の更なる充実
- 民間非住宅工事と民間土木工事の深耕、拡大
- アビダス事業に続く新規事業分野の開拓
- 新事業（契約）形態への進出（PFI・EPC等）



環境に即応し、持続的伸展を目指す



固有技術
の創生



事業領域
の創出

創



働き方
の創造



柔軟な発想と強靱な足腰

業績予想サマリー

(億円未満切捨)

- 受注高は新型コロナが経済活動に与える影響が不透明だが、基本戦略の着実な推進により**増加**を見込む。
- 売上高は前期の受注不足等により**減収**を見込む。利益面は減収によるボリュームダウンが懸念されるが、当社建築セグメントの不採算工事の一扫による利益率の改善により**増益**を見込む。

	連 結					個 別				
	2021/3	2022/3				2021/3	2022/3			
	実績	中期計画	予想	前期比 増減率	中計比 増減率	実績	中期計画	予想	前期比 増減率	中計比 増減率
受注高	1,410 億円	1,700 億円	1,600 億円	+13.4 %	△5.9 %	751 億円	1,020 億円	910 億円	+21.1 %	△10.8 %
売上高	1,531 億円	1,600 億円	1,510 億円	△1.4 %	△5.6 %	895 億円	950 億円	835 億円	△6.8 %	△12.1 %
営業利益	59 億円	80 億円	64 億円	+7.5 %	△20.0 %	15 億円	45 億円	23 億円	+52.5 %	△48.9 %
営業利益率	3.9 %	5.0 %	4.2 %	+0.3 ポイント	△0.8 ポイント	1.7 %	4.7 %	2.8 %	+1.1 ポイント	△1.9 ポイント
経常利益	59 億円	80 億円	63 億円	+6.6 %	△21.3 %	25 億円	57 億円	34 億円	+31.0 %	△40.4 %
当期純利益	40 億円	50 億円	41 億円	+2.2 %	△18.0 %	24 億円	42 億円	26 億円	+7.6 %	△38.1 %

連結の当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

セグメント別業績予想 (連結)

(百万円未満切捨)

(単位：百万円)

	2021/3	2022/3	
	実績	予想	前期比増減率
受注高	141,079	160,000	+13.4%
建築	46,498	47,500	+2.2%
土木	94,456	112,500	+19.1%
不動産	124	—	△100.0%
売上高	153,106	151,000	△1.4%
建築	41,140	48,000	+16.7%
土木	111,841	103,000	△7.9%
不動産	124	—	△100.0%
売上総利益	15,890	16,400	+3.2%
	(10.4%)	(10.9%)	(+0.5 _割)
建築	2,589	4,540	+75.3%
	(6.3%)	(9.5%)	(+3.2 _割)
土木	13,390	11,860	△11.4%
	(12.0%)	(11.5%)	(△0.5 _割)
不動産	△88	—	—%
	(△71.2%)	(—%)	(+71.2 _割)



セグメント別業績予想（個別）

（百万円未満切捨）

（単位：百万円）

	2021/3	2022/3	
	実績	予想	前期比増減率
受注高	75,120	91,000	+21.1%
建築	44,364	45,000	+1.4%
土木	30,608	46,000	+50.3%
不動産	146	—	△100.0%
売上高	89,578	83,500	△6.8%
建築	38,887	45,500	+17.0%
土木	50,543	38,000	△24.8%
不動産	146	—	△100.0%
売上総利益	7,114	7,900	+11.0%
	(7.9%)	(9.5%)	(+1.5_割)
建築	2,278	4,300	+88.7%
	(5.9%)	(9.5%)	(+3.6 _割)
土木	4,890	3,600	△26.4%
	(9.7%)	(9.5%)	(△0.2 _割)
不動産	△54	—	—%
	(△37.2%)	(—%)	(+37.2 _割)





青木あすなる建設

ご注意：本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。